

【診療科:消化器外科】
 【レジメン登録番号:SG-112】

< FOLFOX-RT療法 >

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)	
			1 14
オキサリプラチン	85mg/m ²	div	○	
レボホリナート	200mg/m ²	div	○	
フルオロウラシル	400mg/m ²	全開div	○	
フルオロウラシル	1600mg/m ²	div	○	

【1コース期間: 14 日】 【総コース数: 6コース】

【適応癌種: 食道癌】

【時期: 術前、術後、**手術不能・進行・再発**】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	薬時の再開基準

投与プロトコール

<第1-3日目>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	デキサート 6.6mg	div(15分で)
	5-HT3R Blocker 1A	
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	オキサリプラチン 85mg/m ²	側管div ^{※1} (2時間で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.3	レボホリナート 200mg/m ²	div(2時間で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.4	フルオロウラシル 400mg/m ²	div(10分以内で)
	5%ブドウ糖液 100mL	
Rp.5	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.6 ^{※2}	フルオロウラシル 1600mg/m ²	div(46時間で)
	生理食塩水 500mL ^{※2}	

<第1日目>

Rp	薬剤名	投与経路
Rp.1	アプレピタントカプセル(125mg)	p.o.

<第2-3日目>

Rp	薬剤名	投与経路
Rp.1	アプレピタントカプセル(80mg)	p.o.

【参考文献:Lancet Oncol 2014;15:305-314】

【備考:※1...オキサリプラチンとレボホリナートは同時投与。】

【備考:※2...Rp.6を末梢で投与する場合は上記オーダーで。CVポートより投与する場合は、携帯型ディスポーザブル注入ポンプ(バクスター-SV2.5)を使用する。】

【インフューザーポンプを使用する際の生食希釈量は、携帯型ディスポーザブル注入ポンプの説明書を参照。】

【備考:放射線療法を併用する。照射量は50Gy(2Gy×25回)とする。】